

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 2 区分
 【発行日】平成 18 年 2 月 23 日 (2006.2.23)

【公開番号】特開 2004-219632(P2004-219632A)
 【公開日】平成 16 年 8 月 5 日 (2004.8.5)
 【年通号数】公開・登録公報 2004-030
 【出願番号】特願 2003-5653(P2003-5653)
 【国際特許分類】

G 0 9 B 19/00 (2006.01)

【F I】

G 0 9 B 19/00 Z

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 1 月 10 日 (2006.1.10)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

エステティック施術の手技の説明表示の使用方法であって、
 デコルテ部分の解剖学的特徴を記載したエステティック施術の手技の説明表示をエステティックの施術者に提示するステップを含むことを特徴とする、エステティックの施術手技の説明表示の使用方法。

【請求項 2】

前記解剖学的特徴の記載に、頭頸部、胸部及びその背面の筋肉、血管及びリンパ節の構造を記載することを特徴とする、請求項 1 に記載のエステティックの施術手技の説明表示の使用方法。

【請求項 3】

前記頭頸部、胸部及びその背面の筋肉の構造として、僧帽筋、胸鎖乳突筋及び大胸筋を記載することを特徴とする、請求項 2 に記載のエステティックの施術手技の説明表示の使用方法。

【請求項 4】

前記解剖学的特徴の記載に、さらに眼周囲部の血管、リンパ節の存在状況を記載することを特徴とする請求項 1 ～ 3 何れか 1 項に記載のエステティックの施術手技の説明表示の使用方法。

【請求項 5】

前記解剖学的特徴の記載に於いて、デコルテ部分を強調することを特徴とする、請求項 1 ～ 4 何れか 1 項に記載のエステティックの施術手技の説明表示の使用方法。

【請求項 6】

前記エステティック施術手技の説明表示方法の施術において、デコルテ部分への施術が含まれていることを特徴とする、請求項 1 ～ 5 何れか 1 項に記載のエステティックの施術手技の説明表示の使用方法。

【請求項 7】

請求項 1 ～ 6 何れか 1 項に記載のエステティックの施術手技の説明表示方法に於いて、前記解剖学的特徴の記載が淡いピンクのイメージに配色されていることを特徴とする、請求項 1 ～ 6 何れか 1 項に記載のエステティックの施術手技の説明表示の使用方法。

【請求項 8】

前記淡いピンクのイメージの配色が、白地を背景に淡いピンク色の縁取りと表題の淡いピンク色の囲みによって創出されていることを特徴とする、請求項 7 に記載のエステティックの施術手技の説明表示の使用方法。

【請求項 9】

淡いピンク色が H B S 表色系に於ける色座標で、明度が 7 . 5 ~ 9 . 5、色相が 2 4 R P ~ 6 y O、彩度が 3 s ~ 9 s の領域の色であることを特徴とする、請求項 8 に記載のエステティックの施術手技の説明表示の使用方法。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 5】

【課題を解決するための手段】

このような状況に鑑み、本発明者らは、目の周囲の体液循環改善や顔のたるみ改善を目的としたデコルテ部分へのエステティックの施術手技の説明表示に於いて、エステティック施術を行う場所と、施術のポイントを的確に施術者に伝える或いは理解させ、前記効果を最大限に引き出せる施術手技を身につけさせることの出来る、説明表示を求め、鋭意研究努力を重ねた結果、エステティック施術者に対する、エステティック施術の手技の説明表示であって、デコルテ部分の解剖学的特徴の記載を構成要素とする説明表示がこの様な要件を備えていることを見出し、発明を完成させるに至った。即ち、本発明は、以下に示す技術に関するものである。

(1) エステティック施術の手技の説明表示の使用方法であって、デコルテ部分の解剖学的特徴を記載したエステティック施術の手技の説明表示をエステティックの施術者に提示するステップを含むことを特徴とする、エステティックの施術手技の説明表示の使用方法。

(2) 前記解剖学的特徴の記載に、頭頸部、胸部及びその背面の筋肉、血管及びリンパ節の構造を記載することを特徴とする、(1) に記載のエステティックの施術手技の説明表示の使用方法。

(3) 前記頭頸部、胸部及びその背面の筋肉の構造として、僧帽筋、胸鎖乳突筋及び大胸筋を記載することを特徴とする、(2) に記載のエステティックの施術手技の説明表示の使用方法。

(4) 前記解剖学的特徴の記載に、さらに眼周囲部の血管、リンパ節の存在状況を記載することを特徴とする(1) ~ (3) 何れか 1 つに記載のエステティックの施術手技の説明表示の使用方法。

(5) 前記解剖学的特徴の記載に於いて、デコルテ部分を強調することを特徴とする、(1) ~ (4) 何れか 1 つに記載のエステティックの施術手技の説明表示の使用方法。

(6) 前記エステティック施術手技の説明表示方法の施術において、デコルテ部分への施術が含まれていることを特徴とする、(1) ~ (5) 何れか 1 つに記載のエステティックの施術手技の説明表示の使用方法。

(7) (1) ~ (6) 何れか 1 つに記載のエステティックの施術手技の説明表示方法に於いて、前記解剖学的特徴の記載が淡いピンクのイメージに配色されていることを特徴とする、(1) ~ (6) 何れか 1 つに記載のエステティックの施術手技の説明表示の使用方法。

(8) 前記淡いピンクのイメージの配色が、白地を背景に淡いピンク色の縁取りと表題の淡いピンク色の囲みによって創出されていることを特徴とする、(7) に記載のエステティックの施術手技の説明表示の使用方法。

(9) 淡いピンク色が H B S 表色系に於ける色座標で、明度が 7 . 5 ~ 9 . 5、色相が 2 4 R P ~ 6 y O、彩度が 3 s ~ 9 s の領域の色であることを特徴とする、(8) に記載のエステティックの施術手技の説明表示の使用方法。